

<ダイジェスト版>

「みんなで育てる身近な図書館」を目指して

(第2次和光市図書館サービス計画 2018~2022)

<策定の趣旨>

和光市図書館は、これまでの取り組みを踏まえつつ、より良い図書館サービスを実現できるようにするため、『第2次和光市図書館サービス計画』を策定しました。本計画に基づき、図書館は各種施策に取り組みながら、図書館を支えていただいている市民、地域、ボランティアなど全ての人々と協力・連携することにより、将来像【みんなで育てる身近な図書館～地域コミュニティを支える情報拠点を目指して～】に向けてより一層の充実した図書館サービスを提供いたします。そして、和光市のまちづくりにとってなくてはならない「身近な図書館」となるように、みんなで育てていただくと同時に、みんなと一緒に育っていく図書館となることを目指します。

<将来像>

みんなで育てる身近な図書館 ～地域コミュニティを支える情報拠点を目指して～

【将来像イメージ図】



木（図書館）は水や太陽（資料）を得て大きくなり、葉（情報）が増えていく。

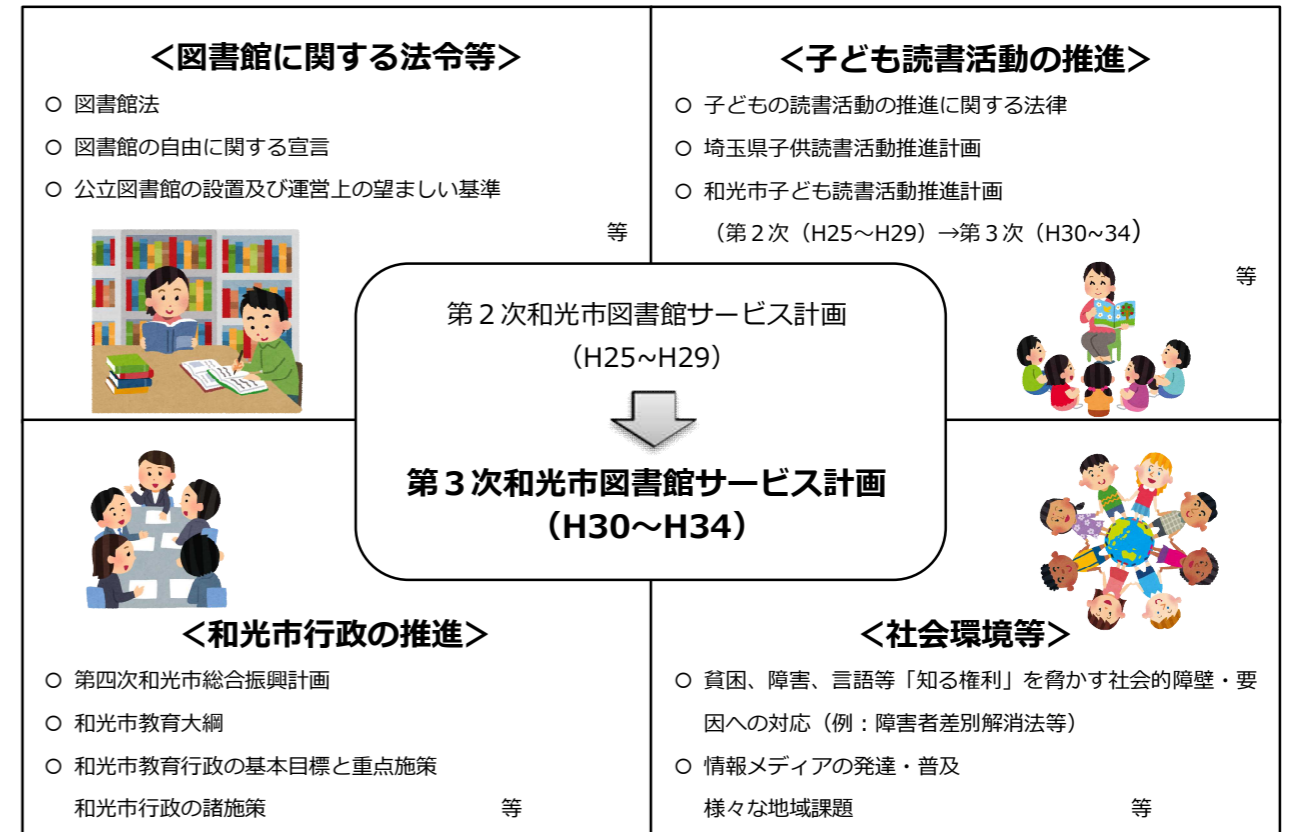
木（図書館）は、水や太陽（資料）だけでなく、人々（職員・市民・各機関等）が下草刈りや除伐等により支えることで、成長して葉（情報）が増え、人に頼られる拠点となっていく。

さらに大きくなると、葉だけではなく、木の実（新たな情報等）等が生まれ、木（図書館）はみんな（地域）にとってなくてはならない、コミュニティを支える拠点・場となっていく。

みんなで育てることで、図書館は地域コミュニティを支える情報拠点となります。

<計画の位置付けと期間>

(1) 計画の位置付け



(2) 計画の期間

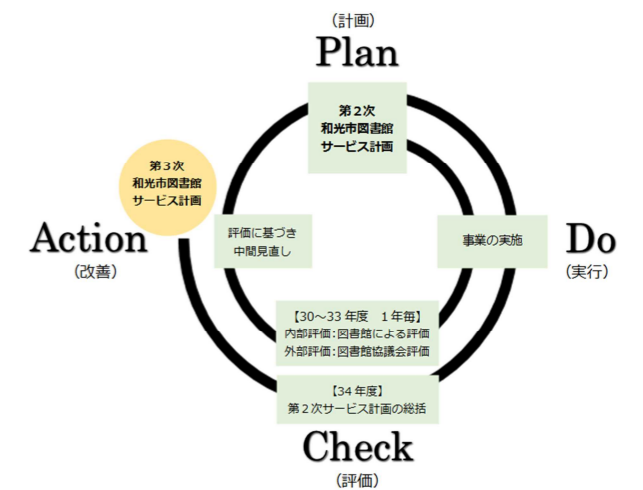
計画の期間は、平成30年度から34年度までの5年間とします。なお、必要に応じて見直しを行います。

<計画の実現に向けて (PDCAサイクルによる計画の推進)>

本計画は、各施策に「取組年度」と「5年後の目指す姿 (定性的目標)」と「数値指標 (定量的指標)」を設定し、図書館による内部評価を行い、さらに外部評価として、和光市図書館協議会において実施状況について評価を受けます。

これらの評価結果を参考に、各種事業の見直しを行うなど、計画の実現に向けて、P計画(plan)-D実施(do)-C評価(check)-A改善(action)サイクルによる取組を進めていきます。

なお、最終年度は期間中の成果を中間総括し、第3次サービス計画の策定に活かすこととします。



<ダイジェスト版>

「みんなで育てる身近な図書館」を目指して (第2次和光市図書館サービス計画 2018~2022)

■発行月：平成30年3月 ■編集・発行：和光市図書館

〒351-0114 和光市本町 31-1 TEL: 048-463-8723



「みんなで育てる 身近な図書館」

～地域コミュニティを支える情報拠点を目指して～

将来像

基本施策

5年後の目指す姿

施策

取組内容(◎は重点シマン)

I 和光市らしさを意識した図書館へ

【目指す姿】
市民生活の課題解決や生涯学習活動の支援を行う等、市民の多様化するニーズ等への対応を図りながら、和光市らしさを意識した蔵書の管理を行います。

本の収集を行い、収蔵量の範囲内で適切な蔵書管理を行うことで、市民が多くの情報に触れられるようにする。

視聴覚資料を充実・活用し、その満足度が高い図書館となる。

郷土資料を活用することで、みんなが和光市の歴史や郷土の偉人を知り、和光市を身近に感じられる図書館となる。

- 1 図書資料等の収集・保存
- 2 視聴覚資料の充実
- 3 郷土・行政資料の収集・保存

- ・適切な蔵書管理
 - ・利用者ニーズを把握するためのアンケートの実施
 - ・除籍資料(リサイクル資料)の活用
 - ・図書資料の保存場所等の検討・確保
- ・市民と連携・協力した郷土資料等の収集・保存
 - ・本市ゆかりの文化人の資料の収集・保管
 - ・子ども向け郷土資料の充実
 - ・郷土・行政資料を活用したイベントの開催
 - ・地域の思い出を共有する企画

II みんなが利用しやすい図書館へ

【目指す姿】
乳幼児、高齢者、障害者、外国人、困難を抱える人々を含め、誰もが利用しやすいよう、利用者に応じたきめ細やかな図書館サービスを提供します。

多くの子どもたちが本に親しみ、本を読む習慣を身につけている状態となるようサポートできる図書館となる。

現役世代が利用しやすくなるような図書館となる。

障害者や高齢者が利用しやすい図書館となる。また、図書館がアクティビニアの活動の場の一つになる。

外国人が利用しやすい図書館となる。

- 1 乳幼児・小学生へのサービスの充実
- 2 中学生及び高校生へのサービスの充実
- 3 成人へのサービスの充実
- 4 障害者・高齢者等へのサービスの充実
- 5 外国人へのサービスの充実

- ◎ヤングアダルトコーナー等の充実
- ◎中高生向け講座の実施
- ◎学校における取組への支援
- ・良質な乳幼児・児童向け図書等の収集・保存
- ・乳幼児向け事業等の充実
- ・保育施設・幼稚園における取組への支援
- ・家庭・地域における取組への支援
- ・子ども向け事業等の充実
- ・障害のある子どもたちへのサービスの充実
- ◎学校における取組への支援
- ・市内各公共施設への団体貸出等の充実
- ・現役世代の利用率向上のための取組の実施
- ・館内閲覧用パソコンの充実
- ・放送大学再視聴覚施設の充実
- ・カフェ設置の検討
- ◎障害等に応じたサービスの実施
- ◎市役所関係各課との連携によるニーズの把握及び事業の実施
- ◎対面朗読のための音訳者支援
- ◎アクティビニア向けのサービスの充実
- ・市役所関係各課等との連携
- ・外国人への情報提供と外国語資料の収集・保存

III 居心地の良い図書館へ

【目指す姿】
地域の情報拠点を目指し、図書館の安定的な運営を行い、質の高いサービスを提供する等、誰もが居心地が良いと感じる図書館機能を充実します。

様々な機関と連携し、それぞれの強みを活かした事業を実施する図書館となる。

地域のボランティアと連携し、市民・利用者にとって魅力的な図書館となる。

市内のコミュニティ情報を知りたいときに、知ることができる図書館となる。

適切に施設を保存し、みんなが満足できる環境を提供する。

ミニコミ等インターネット環境を整えることで、誰もが様々な情報へアクセスしやすい図書館となる。

職員の質や意欲を向上させ、気持ちの良い対応ができる図書館となる。また、図書館運営については和光市図書館協議会により外部評価を受けながらより良く改善していく図書館となる。

- 1 公共施設等と連携したサービスの提供
- 2 地域、ボランティアとの連携
- 3 コミュニティ情報等の収集・保存・発信
- 4 図書館施設等の保全
- 5 電子図書館の推進
- 6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上

- ・公民館図書室の利用方法の検討・実施
- ◎市内の機関(国等)や企業、医療機関等との連携
- ・県内各公共施設、近隣図書館との連携等
- ・市内各公共施設との連携によるサービスの充実
- ・市役所関係各課等との連携による事業等の充実
- ◎図書館ボランティアの育成・支援、連携
- ・地域等との連携による図書館事業の充実
- ・ひとハコ図書館の検討・実施
- ◎コミュニティ情報サービスの充実
- ・市役所発行のチラシ等の配布
- ・適切な施設の保全
- ・図書館管理システムの充実
- ・電子書籍の導入の検討
- ・館内インターネット環境の整備
- ・図書館ホームページの充実
- ・効率的効果的運営の検討・実施
- ・職員の資質の向上
- ・テーマ展示の定期的な開催
- ・図書館協議会による審議
- ・図書館の運営状況等の情報提供
- ・第3次図書館サービス計画の検討・策定